

# 保健だより



## 保健カレンダー

お問い合わせ 保健福祉課保健指導係

**【8月分】**

6日(金) もくもく教室 **申込制** ...13:00~14:00  
乳幼児健診.....13:30~14:30  
(通知者以外は14:30~)

10日(火) リハビリ教室.....11:00~14:30

19日(水) 乳幼児予防接種

三種混合	13:45~14:15
麻しん	14:45~15:00
風しん	15:30~15:45

20日(金) リハビリ教室(理学療法士による指導) **予約制**

23日(月) 子育て相談 **予約制**

24日(火) リハビリ教室.....11:00~14:30

26日(木)~9月1日(金) 成人病検診 9:00~11:30

**※会場は保健福祉センターです!**

地域子育て支援センター  
親子遊びの体験教室 **予約制**

6日(金) テーマ「七夕かざり」...10:00~11:30

27日(金) テーマ「小麦粉粘土」...10:00~11:30

遊びの広場(毎週月・火・水曜日プレイルーム開放)...9:00~12:00  
2日(月)・3日(火)・4日(水)・9日(月)・10日(火)・11日(水)・17日(火)・18日(水)・23日(月)・24日(火)・25日(水)  
30日(月)・31日(火) 16日(月)はお休みとなります。

会場は幼児センターです!

申込み・お問い合わせ 東川町地域子育て支援センター ☎82-5100

**【9月分】**

1日(水) 成人病検診 16日(水) はつらつ料理教室

2日(木) 栄養教室(応用編) ツ反判定・BCG

3日(金) 乳幼児健診 22日(木) 1歳6カ月児健診

ごっくん教室 28日(水) リハビリ教室

7日(火) リハビリ教室 29日(水) 子育て相談

9日(木) 元気っ子クッキング 30日(木) 栄養教室(基礎編)

乳幼児予防接種 親子ふれあい教室

14日(火) 乳幼児ツバルクリン反応検査

### 老人医療給付(道老)の対象年齢が変わります

65歳~69歳までのひとり暮らし・老人夫婦等の老人を対象に老人保健と同様の負担(1割)により医療を受けられる老人医療給付特別対策事業(道老)の対象年齢について、北海道の医療給付制度の改正に伴い、「65歳以上70歳未満」から「昭和14年7月31日以前に生まれた者」に改正になります。

新制度は8月1日からの施行となり、平成16年8月1日以降に65歳になる方については新しい制度の対象者となりますのでお知らせいたします。

### 成人病検診のお知らせ

**実施日** 8月26日(木)~9月1日(水)の5日間(受診日ごとに地区割りしますので、受診案内をよくご覧ください。受診票は、各行政区の主婦の会委員より8月中旬頃配布されます。)

**対象者** 35歳以上の町民(今年度35歳になる方も対象になります)

**会場** 保健福祉センター  
**受付時間** 午前9時~11時30分  
**料金** 500円  
**検査内容** 血液検査・尿検査・身長・体重・体脂肪測定・問診・血圧測定・診察・心電図

- その他**
- ・厚生労働省の指針により、平成14年度から5年間の予定で、C型肝炎ウイルスの検査を実施します。
  - ・C型肝炎ウイルス検査の対象者については、節目の年齢の方(40~70歳までの5歳刻みの方)過去に肝機能の異常を指摘されたことのある方等で、この他の対象者については、受診票の封筒に記載していますので、ご覧ください。
  - ・26日(木)に結核・肺がん検診を追加で行います。まだ検診を受けられていない方は、直接保健福祉センターへお越しください。(午前9時~11時30分)
  - ・転入等で受診票が配布されていない方でも、対象であれば受診できますので、保健福祉センターへお越しください。

### 子育て支援センター「親子音楽あそび」のお知らせ

親子で楽しく参加できる講座を予定しています。一緒に歌ったり、踊ったり楽器を使ったり楽しみませんか?

**対象** 家庭にいる親子ならどなたでも

**日時** 8月19日(木)午前10時~11時30分

**内容** 親子音楽あそび

**講師** 元カワイ音楽教室講師 大矢 千晶先生

**場所** 子育て支援センタープレイルーム

**参加人数** 10組~15組 **予約制**  
(8月9日から受付をしますが先着順となります。)

申込み・お問い合わせ 東川町地域子育て支援センター(☎82-5100)

### ちょっと気になる? 前立腺

~自覚症状が出る前に~

こんな症状は危険信号  
前立腺がんは、前立腺の尿道から遠い部位に発生することが多く、がんの発生初期には自覚症状がまったくありません。しかし、がんが成長すると前立腺肥大症と同じように尿道をふさいでしまい、次のような症状がはじめます。

- ・尿が出にくい。
- ・尿がすずり尿がでて時間がかかる。

前立腺とは?  
前立腺は、男性に特有の生殖器のひとつです。通常はクルミ大で、重さが15グラムの小さな臓器です。場所は膀胱の下方、直腸の前方にあり、尿の通り道である尿道の周りを取り囲んでいます。

欧米で非常に多く、実際に男性がん死亡者数の上位を占めているのが前立腺がんです。そのため早期発見・早期治療のための検診が盛んに行われており、その成果は死亡減少効果に現れてきています。

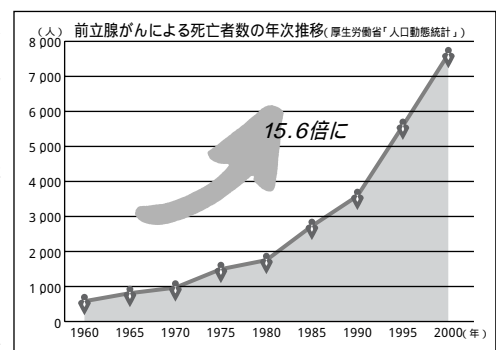
日本人は前立腺がんにかかりにくいといわれてきましたが、ここ30年で死亡者数は実に8倍以上にも増加しています。その理由として食生活の欧米化、社会の高齢化などがあげられています。検診で早期発見し、早期治療を行うことによって、完治する割合も高

自覚症状が出る前に  
前立腺がんも前立腺肥大症も、50歳をこえるとその病気にかかる危険性が大きくなります。前立腺肥大症は病気の初期から自覚症状がでますが、前立腺がんは早い段階では自覚症状がでません。そのため、残尿感などの症状がでたら、がんが成長していることもあるので、すぐに前立腺がん検診を受けましょう。

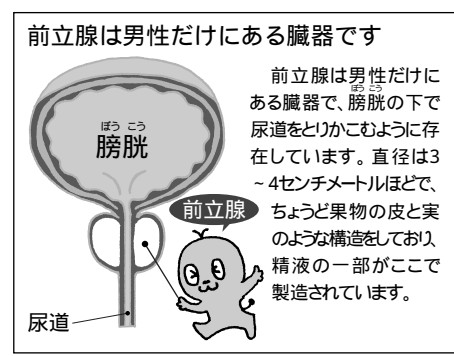
- ・夜間に排尿する回数が増える。
- ・排尿しても、尿が残っているような感じがある(残尿感)。
- ・腹部がはる。
- ・血尿がでる。
- ・精液が赤い。

気になる検診の内容  
おもに血液検査、直腸指診、超音波検査の3つがあります。血液検査:前立腺がんにかかる、前立腺から分泌されているPSA(前立腺特異抗原)という物質の量が急速に増加し、血液

50歳になったら検診で予防を発生しても進行が遅く、初期には自覚症状がないのが前立腺がんです。また、40歳前にはほとんど発生しませんが、50歳を過ぎると加齢とともに発生する確率が高くなっていきます。50歳になったら、定期的に検査を受けることが予防策のひとつといえます。



ていると考えられます。肉類や乳製品を控えて動物性脂肪の摂



中に流れだします。このため、採血してPSAの量を測定することのできる確率ががんを見つけたすことができます。直腸指診:肛門から指を入れて、直腸に接している前立腺にふれてみることで、がんの有無を調べられるものです。超音波検査:この検査は肛門から器具を入れて行います。超音波による画像で、前立腺内部の様子まで調べられます。実際には、これらのうち血液検査が行われることが多いようです。

前立腺がんの患者が急激に増加した理由のひとつとして、検査法の発達があります。これらの検査により他のがんに比べて早期に発見されることが多くなりました。自覚症状が出たときには、かなり進行している場合が多いので、50歳になったらぜひ検診を受けてください。